

一新製品「健康シート」の開発

最近、不眠や腰痛、肩こり等の悩みをよく耳にする。これらは「現代病」とも言われ、その治癒や症状の改善を求めて、多くの入達が病院に通い、薬局の店頭に並び、またいろいろな治療法を試してはいるが、「快方に向かった」という話はほとんど聞かない。治療をあきらめてしまった人も数多いと思われるが、しかし最近この種の悩みに劇的に応えてくれる新製品が登場した。

「ゲルマニウム」という物質は三二℃以上に温められるとマイナスイオンを放出し、血管壁

探訪 チャレンジ企業 46

新しい活路を「健康シート」に求めて
— 繊維産業起死回生の新製品 —
ウーブンナック株式会社：白山市(鶴来商工会)



代表取締役 西 弘三氏

に付着したコレステロールを取り除くというすぐれた性質があるといわれている。そして、この性質を利用して血行を促進し細胞を活性化すれば、こり等の諸症状を緩和することが可能ではないかと考えた。その新製品の名は快適シート「ライフライン」。開発したのは、白山市鶴来本町に本社がある「ウーブンナック株式会社」である。

二 開発の方向

同社の本業は、細中織物である。かつては「日本の基幹産業」と言われた繊維産業も、後発国の追い上げを受け今では「多くの事業者が青息吐息をついている」といった状態にまで追い込まれてしまった。そうした中、多くの企業は頹勢を立て直すべく中国進出を企てたが、結局は膨大な労力と時間と資金を浪費しただけに終わってしまった。こうした実情を学びとして、「開発は模倣されやすい織り方の分野ではなく、模倣されにくい素材面に絞って進めねばならない」という観点から、メイド・イン・ジャパンにこだわりのもった。

方向が定まった以上、持前の技術力を駆使して実行していくだけである。水をはじく撥水加工、温度によって色が変化する感温素材、シリコンにビーズを組み込むことにより、光源に向かって反射光を帰してくる再帰反射素材、消臭抗菌を実現した光触媒素材等を次ぎ次ぎと誕生させた。こうした技術の蓄積から生まれたのが、快適シート「ライフライン」である。

三 新製品ライフラインの特徴

「ライフライン」とは、最大一四五cm×二〇五cmの綿布にゲルマニウムを含有する医王石（医王山で産出する天然鉱石）や、特殊セラミックのトルマリン（マイナスイオンを発生する）、更には遠赤外線で身体を温め消臭効果も期待できる高品位活性炭などを、特許技術のボンディング加工で通気性を保ちながら包み込んだ画期的な新製品である。その付随品であるパッケージ



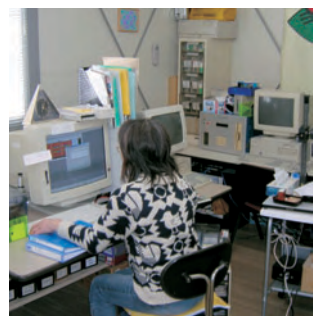
快適シート 「ライフライン」

の設計でさえ、「陳列効果を高める」「面積をとらない」「薬事法に抵触しない」などの条件をクリアせねばならず、かなりの困難を伴ったが、周囲に集ってくれた多分野の専門家達の協力を得て、ようやく完成へとこぎつけることができた。

四 目指すは繊維業界に貢献できる製品

同社西社長の長年の夢は自社技術を使って直接消費者に提供できる製品（消費財）を開発することである。かつて石川県の繊維産地は「賃加工産地」と言われ、高度の技術を持ちながらも大手メーカーや商社の下請けの地位に甘んじ、わずかの賃料を得るために長時間の労働を強いられる悲哀をかこってきた。賃加工を脱するために「自ら価格を決定できる製品を持つこと」は大きな夢だったのである。苦心の結果、製品開発という第一段階はパスしたが、次には「自ら販路を開拓せねばならない」というこれも大きな課題が待ち構えていた。

日夜その方法を考えていたがあるとき、ふと目にとまったのは、近くにあったフリーペーパー（無料の情報誌）である。「これは使えるかもこれなら」と、試しに数誌に「ライフライン」の原稿を送ってみると、すさまじい反応が返ってきた。読者からの返信や問い合わせが殺到し、その数が五〇〇〇通にも達したのである。



ウーブンナック(株)の事務所内

この事実をもとにして、東急ハンズなどの有名小売店に売り込みをかけたところ、即座に了承され、新製品が各地の店頭にも並ぶことになったのである。あとはこの方法をくり返して、取扱店を増やしていくだけだが、その手応えも日を追うごとに確かなものになりつつある。あるいは久方ぶりに産地レベルでの大型ヒット商品にまで成長するかもしれない。そうすれば苦境にあえぐ同業者にも仕事を分かち与えることが可能となる。その可能性に大きな期待をかけた。

(お問い合わせ)

ウーブンナック株式会社

〒九二〇一〇二二一

白山市鶴来本町四丁目72

TEL: 〇七六一九二一〇八七〇

FAX: 〇七六一九三三三八二四

E-mail: info@wovenac.com

URL: http://www.

e-lifeline.net

http://www.

wovenac.com

このコーナーでは石川の「チャレンジ企業」を応援しています。取材を希望される方は最寄りの商工会にお尋ねください。